
■ さろん | Mail News 2016/5/1 | #66 ■

(*Bcc でお送りしています)

これまで「さろん」にお申込・ご参加された方にご案内しています。
ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。
みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、
今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。
なお、このメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものです。
会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。
予めご了承ください。

=====Vol.66 2016年5月1日(日)=====

さ | ろ | ん |
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

【さろん哲学、参加費の設定について】

読者の皆様へ

弊会は、従来、さろん哲学(哲学対話)の参加費を実費ベースとしてきましたが、
この度、会の継続的な運営を考慮し、苦渋の決断でしたが、
300円/人程度を頂戴することとしました。
何卒みなさまのご理解、ご協力をお願い致します。

開始時期 : 2016年5月期開催の「さろん哲学」より

参加費相当額 : 300円/人程度(飲食費別)

さろん

代表 堀越睦 拝

INDEX

- | 【1】 予約受付中：5/21 さろん哲学 第69回 テーマ：「公」
- | 【2】 予約受付中：5/12 朝さろん〈59〉『沈黙』 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉
- | 【3】 準備中：－ さろん工房
- | 【4】 開催の報告：4/16 さろん哲学 第68回 テーマ：「なぜ働くのか？」
- | 【おしらせ】 さろんラボ 002 「哲学カフェ Ante-table」が開催されます
- | 【5】 関連イベント情報
- | 編集後記

CONTENTS

- 【1】 さろん哲学
- 第69回 テーマ：「公」

第69回さろん哲学を「公」のテーマで開催します。

日 時：2016年5月21日（土）15:00-17:00

テーマ：「公」

進 行：野田

会 場：リリオ品川

<http://www.k-thanks.co.jp/lirio/>

参加費 300円＋飲食費実費

（参加費 300円は受付時にお支払いください。なるべくお釣りのないようにお持ちください。）

▽司会から：

「公の秩序」などと使われる公<おおやけ>について考えます。

時間があれば、公共やpublicと比較します。

参加者各位はドリンクなどのワンオーダーをお願いいたします。誠に申し訳ありませんが、参加費として、お一人様につき300円を徴収いたします。さろんの運営費として活用させていただきます。

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。不要の方はさろんのHP (<http://salon-public.com/>) の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

ご予約を受付け中です。

salontetsugaku@gmail.com (予約担当：ヤギ林)

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

さろん哲学は【原則、毎月第3土曜】開催です

【2】朝さろん／夜さろん

〈59〉『沈黙』遠藤周作 / 〈本棚拝見 (リクエスト特集)〉

前回の開催報告、朝さろん〈58〉『硝子戸の中』夏目漱石、参加者6名。

開催の記録は「朝さろんの本棚」に掲載しています。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 59th morning

『沈黙』遠藤周作 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2016年5月12日(木) am6:50~8:00頃

参加費：500円(資料代等)

場 所：渋谷駅近く(ご予約時にご案内いたします)

本 題：『沈黙』遠藤周作(新潮文庫)

定 員：8名程度(要予約)

内 容：

◇1966年発表、多言語に広く翻訳もされた遠藤周作の代表作。

今年スコセッシ監督による映画版も公開予定。

◇推薦者からの推薦コメント

「出会いは高校の国語の時間。それからかなりの年月が経ちましたが、この小説ほど、すごい小説にまだ出会えてません。現実の世界にはヒーローもドラえもんもいなくて、救われないことも多い。この小説の主人公も救われない状況で悩み苦しみます。そこで彼が何を見つけるのか、一緒に追いかけてみましょう。(あまざわさん)」

◆朝さろん 60th morning

『skmt 坂本龍一とは誰か』坂本龍一、後藤繁雄 / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2016年12日(日) am9:00~12:00

参加費：500円(参加費)+1200円程度(会場費+ワンドリンク)

場 所：渋谷の談話室(ご予約時にご案内)

本：『skmt 坂本龍一とは誰か』坂本龍一、後藤繁雄（ちくま文庫）

※本書は、『skmt』（リトル・モア社,1999）と、『skmt 2』（NTT 出版,2006）を合本したものです。

定員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹澤

内容：

◇坂本龍一は、何を感じ、どのように時代をとらえ、どこへ行こうとしているのか——。彼の感受性にぶつかるのは何であり、時事性がどのように創作へと彫琢されるのか。インタビューの達人として知られる独特編集者・後藤繁雄とともに、坂本の思考の系統樹をたどり、「時代」に解消されない独創性の秘密にせまる。インタビューにより、思考の軌跡をときあかす「反伝記」の試み。

◇推薦者からの推薦コメント

「憧れを抱く対象について“もっと知りたい”と思うのはごく自然な反応だと思う。そして大人になっても憧れを覚えるくらい魅力的な対象を持っていることは幸福なことだと思う。今回、ある具体的な憧れの対象について掘り下げながら、なにがそう思わせるのかを丁寧に考えてみたい。それはつまり、憧れとはなにかを問うことを通じて、じぶんとはなにかを知ることにはかならない。坂本龍一に憧れを抱いている或る参加者をモデルに、憧れの生成する背景とその効用を包含的に探求してみたい。（セリンジャー）」

以上、ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com（担当：芹澤）

過去の開催内容は、HPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》原則、毎月第2木曜日（但し1月は第3木曜の場合もあり）

《夜さろん》原則、2月、5月、8月、11月の第3金曜日

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

9月のさろん5周年を迎えるにあたり、さろん工房でもなにか新しいことができないか、と春先から志村工房長を交えて話し合いから生まれた「さろん工房β」。無事に終了しました。

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。

現在のところ不定期開催となっていますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。
お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

salontetsugaku@gmail.com

<https://twitter.com/salontetsugaku>

——【4】さろん哲学——
第68回 テーマ：「なぜ働くのか？」

第68回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日 時：2016年4月16日（土）15:00～17:00

テーマ：「なぜ働くのか？」

進 行：堀越

場 所：カフェミヤマ渋谷公園通り店

参加者：14名

▽司会から：

初参加者3名を含む総勢14名で、主に、働くとはどういうことか、働く際に受け取るお金の意味は何か、働く目的はお金だけなのか、という3つの点について考え、対話を深めました。

これまでの開催議事録をHPにて公開しています。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

——【おしらせ】——
さろんラボ 002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」が開催されます

○さろんラボ 002

「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」（主催者：オオゼキさん）

いよいよさろんラボから新しく生まれた哲学カフェのオープン1回目となります。

さろんとはまた異なった哲学カフェに、ぜひご参加ください。

また、今後も適宜このメールニュース等で開催のお知らせをしたいと考えています。

さろんラボ コーディネーター おおむら

▽さろんラボへのご質問やお申込はこちらまで
salontetsugaku@gmail.com (担当: おおむら)

この度さろんラボの力を借りて、『アンティ-テーブル』という名前の
少人数の哲学カフェを立ち上げました。日常生活という舞台から降りて、
『控え室(アンティルーム)』から、演技(=思考・こころ・振る舞い)を振り返る。
そんなカフェを目指します。
ご興味のある方・参加していただける方はメールまたはHPから事前にご連絡下さい。
多くの方と対話できる事を楽しみにしています。

テーマ: 『嘘』 / 『嘘の無い世界』には何が無いのか?

日時: 2016年05月14日(土) 14:30~16:30
費用: 1000円(ハーブティ・お菓子付き)
人数: 6名程度(3名から開催)
会場: 『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ
(東京メトロ九段下駅2番出口より徒歩10分)
http://www.satsu.jp/?page_id=9

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル
HP: <http://ante-table.wix.com/ante-table>
email: cafe.ante.table@gmail.com

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介

From さろんラボ: 001

[あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第23回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカ
フェです。

みなさんのご参加をお待ちしています。

日時: 2016年6月11日(土) 10:00~12:00
テーマ: 「無駄なこと」について考える
運営・進行: くらち

会場：東京 or 品川周辺のカフェ

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※会場の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、もしくは
sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください(Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター

https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問

sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらし)

From さろんラボ：002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル]

テーマ：『嘘』 / 『嘘の無い世界』には何が無いのか？

日時： 2016年05月14日(土) 14:30～16:30

費用： 1000円 (ハーブティ・お菓子付き)

人数： 6名程度(3名から開催)

会場：『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ

(東京メトロ九段下駅2番出口より徒歩10分)

http://www.satsu.jp/?page_id=9

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>

email：cafe.ante.table@gmail.com

代表 オオゼキ

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽哲学カフェ一覧

<http://seesaawiki.jp/dialogue/d/%c5%af%b3%d8%a5%ab%a5%d5%a5%a7%b0%ec%cd%f7>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽第25回人生カフェ

日時：平成28年5月14日（土） 13時30分～17時

場所：新宿区戸塚地域センター（高田馬場駅から徒歩2分）

<http://www.tcc-tokyo.net/>

参加費用：500円

テーマ：「痛みとは何か」

身体の痛み・心の痛み、私の痛み・他人の痛み等々

事前予約：メールで本間まで mgasami.honma@gmail.com

定員：12名

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽第26回人生カフェ

日時：平成28年5月28日（土） 13時30分～17時

場所：新宿区戸塚地域センター（高田馬場駅から徒歩2分）

<http://www.tcc-tokyo.net/>

参加費用：500円

テーマ：『いい言葉はいい人生をつくる』（齊藤茂太著、成美文庫）

第1章「楽天発想」、第2章「人間関係」を読んで、対話する。

事前予約：メールで本間まで mgasami.honma@gmail.com

定員：12名

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話 “ねりテツ”

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://msentalife.wix.com/entalife#!blank/cpu9>

▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽東日本大震災を〈考える〉ナースの会

<http://nurse311.blog.fc2.com/>

▽てつがくカフェ@せんだい×とうきょう

<http://sendaixtokyo.jimdo.com/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽西千葉・Moonlight Bookstore 哲学カフェ

<https://www.facebook.com/events/1160952653932415/>

▽現代哲学ラボ

<http://www.philosophyoflife.org/jp/lab/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽村上春樹の読書会 (Haruki.B.C)

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3169098

▽交換読書会@東京

<http://dokusyokai.com/>

▽横浜読書会

<http://kuribooks.com/>

▽大人のための子どもの本の読書会

<http://booksheepbook.hatenablog.com>

▽「哲学入門」藤本隆志（東京大学出版会、1990）

<http://www.amazon.co.jp/dp/4130120506>

▽岸政彦『断片的なものの社会学』（朝日出版社）

http://www.asahipress.com/bookdetail_norm/9784255008516/

▽「今度こそわかる論理 数理論理学はなぜわかりにくいのか」本橋信義（講談社、2014）

<http://www.amazon.co.jp/gp/product/4061566067>

▽あふれる「境界」の狭間を広げる対話とは？—「東京迂回路研究」の実践

<http://m.huffpost.com/jp/entry/8959388>

▽おへそ保育園「こども哲学」レポートブログ

<https://kodomotetugakuacademy.amebaownd.com/>

▽生きるアシスト.com - 命を考える・応援する情報サイト

<http://ikiruassist.com/>

▽人生を危険にさらせ！ | 新宿教室 | 朝日カルチャーセンター

NMB48 須藤 凜々花

政治社会学者 堀内 進之介

この講義では「哲学」や「善き生」について、自己の生を生き抜くことを重視する

NMB48 の須藤凜々花さんをゲストに迎えて、現代に生きる十代の視点を交えて考えます。

<https://www.asahiculture.jp/shinjuku/course/ea8a010e-ec22-754b-217c-57202a6b3d74>

特集【18歳選挙権】

～高校・大学生への主権者教育と「老若共同参画社会」へ～

▽18歳選挙権に関する出前授業

<http://kvoiku.yomiuri.co.jp/senkyoken/>

▽18歳選挙権を社会全体にとって実りあるものにするために何が必要か

<http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3720/index.html>

▽「主権者教育の必要性」

<http://www.asahi.com/articles/ASH9X6KSXH9XUPQJ01P.html>

▽文科省；政治や選挙等に関する高校生向け副教材等について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shukensha/1362349.htm

▽それぞれの世代が良さを活かし合う「老若共同参画社会」へ

<http://teensrights-movement.jp/reason>

▽学校での政治教育は、どのようなものが望ましい？

http://lite.blogos.com/discussion/2015-06-18/political_education/

▽“18歳選挙権”に息を吹き込むために。政治教育に本当に必要な3つのこと

http://www.huffingtonpost.jp/hirokatsu-goto/voting-age-changing-to-18_b_8972454.html

編集後記

メールニュース第66号をお届けします。

GW 真っ只中ですね。

都心は強風が吹いたりしたけどお天気よくて、出かけるのにはうってつけですね。

この連休は熊本へたくさんのボランティアが駆けつけています。

ことしは最大10連休ということで、観光地へのダメージはさらに大きいでしょう。

生活の面でも経済の面でも、市民も、地元企業や産業にも、さまざまな面で

ボランティアの方が貢献できる面があるでしょう。

募金が代表的ですが、現地へ赴くだけでない支援も多数試みられ、継続されています。

「公共」について改めて考えさせられます。

今月のさろん哲学のテーマは「公（おおやけ）」です。
野田が進行の回ではここ最近「自由」や「民主的」というテーマを取り上げてきました。
今回の公もそうですが、とても身近で、そしてとても難しいテーマですよね。
みんなで一緒に対話しましょう。

ところで、15日発行予定のメールニュース「読み物号」には、特別寄稿を掲載予定です。
どうぞお楽しみに！
みなさまよい連休をお過ごしください。

それではまた次号でお会いしましょう。
編集：（フクロウ）

さろん | Mail News 2016/5/1
⇒次号（5月15日発行予定）

さろん Mail News 第66号 / 2016年5月1日発行
編集・発行：さろん
salontetsugaku@gmail.com
<http://salon-public.com/>
<https://twitter.com/salontetsugaku/>
<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、
当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."
